

第62回

新居浜を明るくする運動 優秀作品集



優秀標語

ふだんから みんなではなそう ひとりじゃない

金栄小学校 1年 高田 旺雅

「だいじょうぶ？」 みんなをまもる あいことば

角野小学校 2年 大村 颯士郎

「それだめ」と 言える一言 救いの手

泉川小学校 3年 伊藤 柊志

思いやり ささいなことで 救われる

泉川小学校 4年 盛川 千紗

「いけないよ」 その一言が 友情のあかし

高津小学校 5年 近藤 伶香

メールより 会って聞きたい きみの声

宮西小学校 6年 桑本 凌空

「ごめんなさい」 やつと言えた 勇気の言葉

北中学校 1年 祖父江 彰太

飲みこむな 命蝕む 誘いと薬

西中学校 2年 岩井 葵

つかもうよ スマホじゃなくて 仲間の手

西中学校 3年 越智 稟功

ゆうわくに 負けない心 つくろうよ

新居浜東高等学校 1年 森川 千代

講評 新居浜を明るくする運動推進会議

標語については、市内23校から109点応募いただきました。その中から、各学年ごとに選ばれた、優秀標語を掲載しました。今の時代を象徴する、児童生徒の皆さんの心のこもった標語をありがとうございました。

たくさんのご応募
ありがとうございました



優秀作文

小学校:5 年生の部

「優しい新居浜市づくり」

浮島小学校 5年 小溪 隼矢

ぼくは、「非行」という言葉を知りませんでした。そこで、国語辞典を使って調べてみました。すると、「悪い行い」と書いてありました。分かったようで、よく分からなかったぼくは、インターネットで、愛媛県でどれくらい非行件数があるのかを調べることにしました。

調べれば調べるほどびっくりすることばかりが目に見えこんできました。まず、令和六年度の非行件数は、七十六件もあり、さらに令和七年度にはすでに八十一件もの非行があったそうです。さらにおどろいたことは、「非行の中心は小・中学生で、全体の五十三・一パーセントを占める」ということに一番おどろきました。まさか、自分と同じくらいの年れいの子が非行をしているとは思わなかったからです。もっと年れいの高い人たちがやってしまうことばかりだと思っていました。ぼくは、自分が非行なんてするわけないと思っています。しかし、この件数を見ると、少し怖くなってきました。八十一件のうちの何人かは、非行をしてしまう前にはぼくと同じ思いをもっていたのではないかと思うからです。

ぼくも、家でお母さんによく怒られることがあります。人にめいわくをかけたり、だらだらしたり、何回も言われているのにそれを直さなかったときです。ぼく

は、毎回そのことが悪いと分かっています。しかし、楽したいという気持ちや、少しの弱い心がしてしまう原因になっています。非行もきっと同じです。少しの弱い心と、きょう味とが招いた結果だと思います。ぼくも他人事ではないと思います。だから、これからはもっと強い気持ちを持って、ダメなものはダメ、人にめいわくをかけないという強い気持ちを持ちたいです。

今、ニュースを見ると、毎日のように悲しいニュースが流れます。その中には十代の人々が人を刃物で傷つけたり、インターネットで悪口を書きこんだり、ぼくには考えられないような犯ざいがあふれています。もちろん、自分の強い心も大切なことだと思うけれど、もっと大切なのは周りの支えだと思います。優しい声をかけ合って、みんなが笑顔になれば、自然と非行件数もへっていくような気がします。

これからぼくは、もし悪いことにまきこまれそうになったり、してしまいそうになったりしたときは、自分の心にしっかりノーをつきつけたいです。非行のない優しい新居浜市の街づくりにこうけんできたらいいなと思います。



小学校:6 年生の部

「人とのつながりで安心な未来を」

中萩小学校 6年 岩崎 悠月

明るくて、くらしやすい町にしたいと思ったら、まず、その住人が安心できて、住んでよかったと思えることが一番大切だと私は思っている。

最近、空き家が増えているとか、一人ぐらしの高れい者が増えているという話題をテレビでよく聞くようになった。ニュースを聞いていると、〇〇さぎや強とう事件も多く起こっていると感じる。こわい。

そんな時、心配になるのは、八十八才で一人ぐらしをしている曾祖母のことだ。私が曾祖母に会うのは、夏休みやお正月の時くらいだから、会っていないときはどうしているんだろうと心配になる。だけど、いつ会っても曾祖母は、明るくて元気である。なぜだろう。さみしくないのかな。

曾祖母の家にいるときに分かったことは、近所に仲良しの人がいるということだった。野菜のおすそ分けをしてもらったり、世間話をしたりしながら、いつも笑顔である。

そういえば、小学校二年生くらいのとき、曾祖母と近所のおばあちゃんとかで、トランプやカルタをしたこともあった。近所のおばあちゃんとは、とても話やすく、楽しかった記おくがある。曾祖母は、私達がいなくて、近所の方たちとこんな風にすごしているのだと思うと、安心できた。おだやかに、楽しく、自分のペースで過ごせているのが、とてもうれしい。

近所の方たちとのつながりって大切だ。

人とのつながりは、顔見知りだけではないことも知った。

八幡浜のコンビニで、店員さんが、さぎにあいそうだったおじいさんを助けたということで、けいさつ署から感謝状をもらっているニュースもあった。店員さんは、全然知らないおじいさんだったけど、様子がおかしかったの、声をかけてくれたそう。おじいさんの家族は、本当にうれしかったし、ありがたかったと思う。身近にいる人のやさしさが、おじいさんのことを救ったのだ。余計なお世話になることもあるかもしれない。でも、思いやりの気持ちで行動できる店員さんだったから、おじいさんは助かったのだ。

自分が行動することで、いやな思いをするかもしれない。迷わくがられるかもしれない。それでも、ひと声かけられる自分でいたいと思った。

人とのつながりは、顔見知りだけでもないんだ。

つながりを大切にすることは、安心につながるんだ。自分になにができるんだろう。

私も、自分の住んでいる地域の人達と、つながることができないかな。

中萩校区では「ホテルを観る会」があったり、「中萩校区三世代演芸大会」が行われたりする。春や秋には、子ども太こ台や、大人太こ台が地域をねり歩き、もり上がる。そんなずっとつづいている伝統を知り、つなげていくなかで、できる人間関係もあるのだろう。

未来って、今のえん長線上にあると考えたら、今、生きている私達が、もり上げたり、つないだりしながら、つくっていくものなんだと思えた。



中学校の部

「人は変わる」を信じて

泉川中学校 3年 佐藤 凜果

「過去に犯罪をしてしまったことがある」
「家族に犯罪をしてしまった人がいる」

このような言葉を聞いて、あなたはまず初めにどのような印象を受けるでしょうか。おそらく良い印象を持つことはないでしょう。それどころか、「そんな人と関わるのはやめておこう」とさえ思うかもしれません。

私は、犯罪や非行のない明るい新居浜市をつくっていくためには、罪を犯した人を取り締まって処罰して終わり、ではいけないのではないかと思います。どんな理由があろうとも犯罪はいけないことに変わりはないし、然るべき罪を受けることは仕方がないことです。しかし、本当にそれで終わりでいいのでしょうか。

例えば、罪を犯してしまった本人は反省し、これから心を新たに社会へ復帰しようとしたとします。けれど、進学や就職などにおいて、「過去に犯罪を犯した」という事実は決してなくなり、大きな大きな足枷となります。本人だけではありません。両親や兄弟をはじめとした家族や周囲の人たちだってその影響を受けます。何の罪も犯していない人までも差別されてしまうことだってあるのです。もし、自分が「過去に犯罪を犯してしまった人の家族」という立場に立ったとき、自分の未来への道が狭くなっていくことに「仕方がない」「当たり前のことだ」と素直に受け入れることができるので

しょうか。きっと少なからず不安や辛さ、やるせなさを感じると思います。私は実際にそのような経験をしたことはありません。だから、当事者の方たちの気持ちをすべて理解することはできないのかもしれませんが、それが、私たちにできないことがない、というわけではないはずです。

私は、犯罪を犯してしまった人やその周囲の人を新居浜市が一体となって温かくサポートしていくことが当たり前な街になることを目指していきたいです。

では、具体的にはどのようなことをすれば良いのでしょうか。

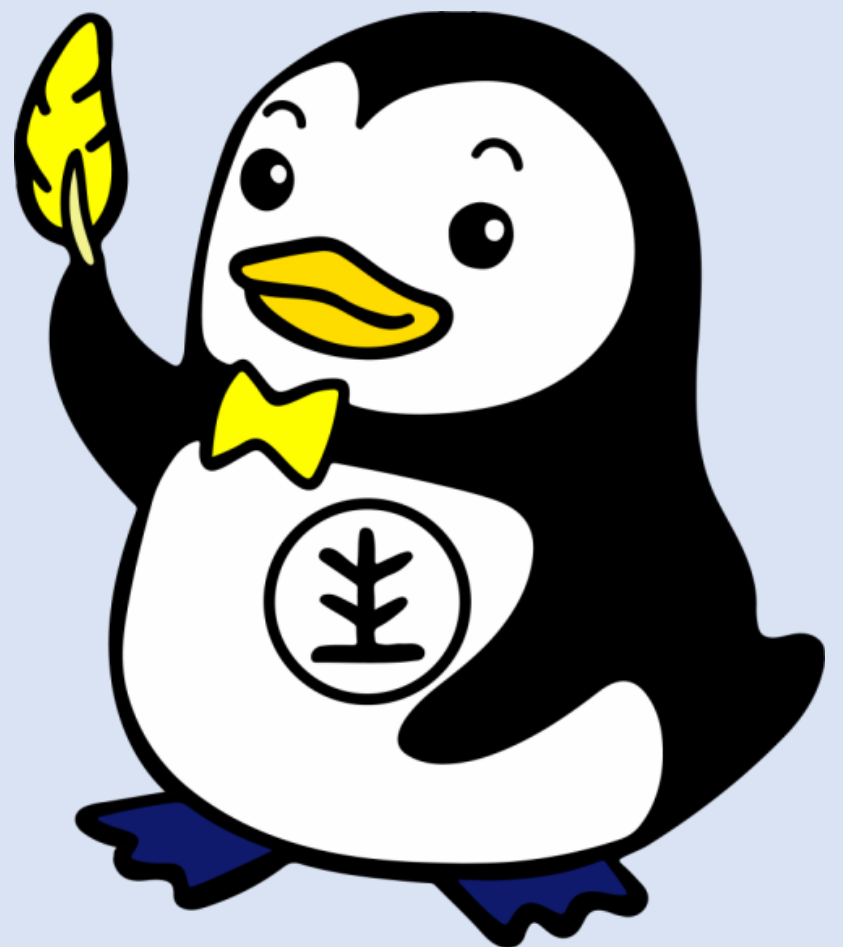
現在、愛媛県には、再犯防止と更生を目的としたサポートセンターや支援団体が存在します。中学生である私が今、実際にこのような団体に関わって支援をすることは難しいかもしれません。それでもまずは、私たちが、「人は必ず変わる」ということを信じて接することが再犯のない町への第一歩だと思います。理解者を増やすために実際に話も聞くことも、当事者理解につながります。また、当事者の孤立を防ぐために一人一人が周囲を巻き込みながら接点を大切にすることも必要だと考えます。

一度犯してしまった罪をなかったことにはできません。それでも、これからの未来はその人次第でいくら

だって変えることができます。今この瞬間にも、自分を変えようとしている人がいます。もう一度人生を歩み直そうと足を踏み出した人がいます。私はそれを受け入れて信じたいです。

「罪を償ってやり直せる。その周囲へ何の差別もない。」それが当たり前の町になって初めて、本当の意味での「犯罪や非行のない明るい新居浜市」を実現できるのではないのでしょうか。

私にできることは、「人は変わる」と信じることです。その思いを多くの人々と共有し、誰もが幸せな新居浜市で、これからもずっと過ごしていきたいです



今回応募いただいた38点の作文と109点の標語のパソコン入力を6名のボランティアの方にご協力いただきました。誠にありがとうございました。
全応募作品は新居浜市社会福祉協議会のホームページで公開しています。
ぜひご覧ください。



発刊にあたり

新居浜市社会福祉協議会

会長 白石 敦之

「社会を明るくする運動」は、犯罪や非行の防止と犯罪や非行をした人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な明るい地域社会を築こうとするものです。

大会を開催するにあたり、市内の小・中・高等学校の児童・生徒の皆様から、多くの作文、標語をご応募いただきました。どの作品も、社会を、また新居浜を「明るくしよう」という熱い思いが込められた素晴らしい作品ばかりです。これは、犯罪や非行が大きな社会問題となっている今日、純真な子どもたちから見た社会への率直な気持ちを表したものであり、訴えでもあります。これらの作品に込められた子どもたちの思いを、大人の私たちがしっかりと受け取め、考え、話し合っ、て、明るく住みやすいまちづくりに努めていかなければならないと感じております。今後とも、これまで以上のお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

第 62 回「新居浜を明るくする運動大会」の開催にあたり、次の企業・商店・団体等により、賛助金を賜りました。厚くお礼申し上げます。

企業・商店・団体等

(20,000 円)

株式会社 四国テクニカ

(10,000 円)

越智産業(株)

社会福祉法人 ふたば会

岡田金属(株)

東和工業(株)

(株)コスにじゅういち

住化ロジスティクス 株式会社

株式会社 全日本宣伝放送

有限会社 公文社

(有)パナック事務機システム

株式会社 ハラプレックス

有限会社 垂水味好堂

(8,000 円)

株式会社 スジャ新居浜営業所

東田印刷 株式会社

(6,000 円)

医療法人 浅井歯科医院

かとうクリニック

梶本建設工業(株)

(4,000 円)

むらやま薬局

(2,000 円)

アカマツ株式会社 新居浜営業所

有限会社 新居浜ビジネスセンター

天理教 垣生分教会

有限会社 愛媛フレーベル

株式会社 別子モータース

新居浜市医師会

三浦綿業株式会社

安養寺

関係機関・団体

(42,000 円)

新居浜地区保護司会 川西分区

(20,000 円)

新居浜地区保護司会 上部東分区

新居浜地区保護司会 川東分区

(10,000 円)

新居浜地区保護司会 上部西分区

新居浜市少年補導委員協議会

新居浜市シルバー人材センター

新居浜ロータリークラブ

(8,000 円)

新居浜地区更生保護女性会

新居浜市女性連合協議会

新居浜市老人クラブ連合会

新居浜市愛護班連絡協議会

新居浜市公民館連絡協議会

新居浜市スポーツ協会

新居浜文化協会

国際ソロプチミスト新居浜

国際ソロプチミスト新居浜みなみ

新居浜交通安全協会

明るい社会づくり新居浜地区推進協議会

(2,000 円)

新居浜商工会議所

新居浜市交通指導員会

新居浜市声の図書室やまびこ

新居浜市おもちゃ図書館きしゃポツポ

手話サークルたけの子

点訳グループさざなみ

絵手紙サークルゆめの会

嵯峨ミストラル新居浜

コットンV「綿ぼうし」

NPO 福祉の店 コットン

傾聴ボランティアクローバー

個人

(6,000 円)

工藤 順

(5,000 円)

鴻上 勝美

寺村 伸治

真鍋 智明

(2,000 円)

渡部 昭子

石倉 理恵子

岡部 嘉幸

菅 幸広

近藤 美代子

田中 洋次

真鍋 憲正

山本 十代美

加藤 茂樹

助成金拠出団体

(10,000 円)

新居浜市社会福祉協議会

新居浜地区保護司会

新居浜地区更生保護女性会

新居浜市民生児童委員協議会

新居浜市連合自治会

新居浜市 PTA 連合会

新居浜市少年補導委員協議会

ひまわり号を走らせる新居浜実行委員会

新居浜災害を考える実行委員会

石鎚みずぶコスモス

ピンクシャツデー愛媛

市内 18 校区民児協

市内 18 校区社協支部

新居浜を明るくする運動推進会議 事務局

社会福祉法人 新居浜市社会福祉協議会 権利擁護課

〒792-0031 新居浜市高木町2番60号 TEL (0897)47-4976 FAX (0897)32-1560

明るい新居浜づくりを目指して、来年もご応募をお待ちしています。

新居浜市社協

